

堺市消防局 SAKAI CITY FIRE BUREAU 火災調査ファイル 11

心地好い香りの中で——ひとりぼっちはいや



アロマローソクが原因で焼けた室内

ここ数年、若い世代を中心にアロマセラピーの使用が流行しています。アロマセラピーは、心身の疲れをいやすため、ハーブ(芳香植物)から抽出した精油を使い、自然の力を活かした療法と言われています。複雑多様化する社会に身を置く現代人にとって、今後ますます使用する頻度が高くなると思われれます。

FILE.11 では、ガラス容器に入ったアロマローソクから火災になった事例を紹介します。

この火災は、午後 9 時頃から友人と部屋に集まり、アロマローソクに火をつけ、リラックスした雰囲気の中で過ごしていたのですが、そのままコンビニエンスストアに出かけてしまい、午前 1 時過ぎに自宅に帰ると、自分の部屋が無惨に焼け焦げていました。

原因は、アロマローソクをテーブルの上で使用していたのですが、その周囲には本や紙屑が散乱していたため、アロマローソクの火がこれらに燃え移り出火したことがわかりました。

アロマセラピー製品は、火をつけたままその場を離れたり、就寝前に火をつけ、そのまま眠ったりしてしまう危険性があります。

このような火災を防ぐためには、付近に燃えやすいものを置かないことは勿論のこと、使用するときは、不燃性の受皿に置くよう心掛けて下さい。そして、火を使用していることを念頭に置き、その場を離れるときや、就寝前には必ず火を消すようにして下さい。

[>>火災事例一覧へ戻る](#)